

作新学院大学・作新学院大学女子短期大学部 (所在地：栃木県宇都宮市竹下町908番地)

事業名 知的障がいのある人たちの学びを支援する包括的な生涯学習事業

事業の趣旨・目的

本事業は、障がいのある人たちに対する生涯学習の保障をとおして、栃木県における「就学前から学校卒業後にわたる一貫した支援」と「家庭・学校・福祉の連携・協働」を推進し、地域共生社会の実現をめざす取り組みである。

事業実施体制・連携先

本学の地域協働広報センター『知的障がいのある人たちの学びを支援する包括的な生涯学習事業』担当事業部会が中核となり、全学的な実施体制で取り組む。連携先は栃木県庁・宇都宮市役所、栃木県内の福祉関係団体などである。

事業内容

- 生涯学習プログラムの実施
 - (1)『さくしん学びのカレッジーオープン・キャンパスー』
 - (2)『さくしん学びのカレッジ』①つどいのキャンパス（ピア・サポートなど）、②さくしんスポーツ・カレッジ、③お金の使い方・貯め方ゼミナール、④さくしんネイチャー・カレッジ（自然で学ぶ・自然を学ぶ）、⑤さくしんライブラリー・カレッジ（図書館を使う・学ぶ）、⑥わたしたち発の学びプロジェクト（自主企画）
- 連携協議会の開催：生涯学習プログラムの中間評価（第1回）、事後評価（第2回）をおこなう。
- コーディネーターの活動（教育・福祉を専門とする本学教員4名が担当）
- 学習サポーター養成研修（7月・8月の2回開催）
- 『さくしん学びのカレッジ』報告会（参加者の学習成果に係る報告、学習サポーターの実践報告など）
- 『共に暮らし、共に学ぶ地域づくりをめざすコンファレンス』（全体会：情報共有の場 分科会：ネットワーク構築）

事業終了後の目指す方向性

①地域を基盤とした「就学前から学校卒業後までの一貫した支援体制の構築」 ②さまざまな障がい特性のある人たちを対象とした生涯学習の保障 ③産・官・学の連携・協働による生涯学習コンソーシアムの構築

その他

生涯学習プログラムは、栃木県内の特別支援学校高等部3年生の皆さんを対象としたアンケート調査結果と保護者・教職員の皆さんを対象としたアンケート調査結果に基づき、本学の教育資源で実現可能なプログラムを立案した。